

	コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	792	成人式開催経費	会計	01	一般会計
			款	10	教育費
			項	05	社会教育費
基本 施策	37	子どもたちの健やかな成長を促す	目	01	社会教育総務費
			細目	430	社会教育推進経費
行革大綱の重点事項番号			細々目	01	成人式開催経費
担当部課名	コード	450400	担当者氏名	前出 公子	連絡先 22 - 9679 (内線)
	名称	教育委員会生涯学習課			

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)		新たに新成人になった市民		※対象件数
成果(どうする)		新成人を祝い、成人となったことを激励することで、新成人としての自覚を持ってもらう。 成人としての自覚を持つことにより、学習する意欲を高め、社会の構成員として活動を活発にする。		
根拠法令・要綱等				
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度		
H23 事業 内容	中学校時代の恩師から、新成人に向けて、また新成人からのビデオメッセージ 成人式式典			
社会情勢の 変化等	新成人を迎える伊賀市民が年々減少しているが、式典参加者率は、ほぼ横ばいである。式典に関する問い合わせから考えても、成人式参加への関心は高いようである。ただ、ごく一部の者であるが、アルコールの持込みや、来賓者への暴言、祝賀行事中に喧上へあがるとうする行為等が毎年起こっている。新成人自らが成人式の企画に参加する実行委員の募集を行っているが、例年応募者が無い状況にある。これらを踏まえ、成人式の祝賀事業については、短時間に終了することが時勢に対応していると判断している。			

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		1 (委託先)	[]
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H22	H23	H24	H25
	実行委員会開催回数	回	目標 1 実績 0	目標 1 実績 0	1	1
	参加者数	人	目標 800 実績 756	目標 800 実績 794	800	800

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H22	H23	H24	H25
	新成人参加率	対象者に対し参加した新成人の率。対象者に呼びかけた成果判断ができる。	%	目標 77.0 実績 77.0	目標 77.0 実績 78.0	78.0	78.0
				目標 実績	目標 実績		

投入コスト			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
	直接事業費計 (A)		(千円) 1,144	(千円) 1,119	(千円) 1,232	(千円) 1,408
	A の 財 源 内 訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
	一般財源		1,144	1,119	1,232	1,408
	事業投入人件費 (B)		0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440
	フルコスト (A)+(B)		2,584	2,559	2,672	2,848

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)			備考欄(特記事項)
必要性	【必1】法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
	【必2】個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	【必3】特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	○	
	【必4】市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	【必6】市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	【必7】民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	【必8】受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	【必9】市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	【必10】事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	【必11】国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【必12】【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【必13】【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】			
有効性	【有1】事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○	ふるさと「伊賀」への愛着心を育む
	【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	○	
	【有3】サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達成度	【達1】当初設定した計画を60%以上80%未満実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	【達2】予算の繰越の有無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	広報等による実行委員の募集	
効率性	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	【効2】基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】		
	【効3】受益者負担を求めることができる事業である。		
	【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。		
	【効5】コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	
改善策	他市の運営状況を調査するとともに、広報やホームページ、ケーブルテレビで募集した市民により実行委員会を組織し、運営改善を検討する。 不法な行為を未然に防ぐため、会場内設営の工夫と施設内外に職員、警備員を配備する。
昨年度の取組状況	【状況】計画のとおり進んでいる 【詳細】施設内外各所に職員や警備員を配備し、予想されうる違法な行為を未然に防ぎ、式典を無事終えるために配慮した。そのため昨年と比較すると穏やかであった。ホームページ、ケーブルテレビで市民による実行委員会を募集したが、応募は無かった。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	児玉 泰清
事業の方向性	【方向性】現状維持
	【理由】
	成人式式典については、受付制限等や会場設営の工夫、警備等により参加者による不法な行為は多少減少の傾向にある。事業の性格として新成人としての自覚を持つための機会であることから、継続をしていくための方法について検討が必要である。
現時点における課題、その他	式場への一部の者による乱入、飲酒等による式典妨害が見受けられる。 実行委員会の参加者が無く市民の自主企画が得られにくい。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	他市の運営状況を調査するとともに、広報やホームページ、ケーブルテレビで募集した市民による実行委員会の組織化や、学校区単位による自治協議会等の協力、社会教育委員会などに諮るなど運営改善について検討する。 当面の実施については不法な行為を未然に防ぐため、会場内設営の工夫と施設内外に職員、警備員を配備する。